

回										
覧										

令和 7 年（2025 年）11 月 1 日発行

臨時 21 号

加古川市人権文化センターだより

発行：加古川市人権文化センター

住所：加古川市加古川町備後

332-1

電話：079-451-5030

寛容さを持つために対話を

「寛容」とは「心が広くて、よく人の言動を受け入れること。他の罪や欠点などをきびしく責めないこと。」という意味です。

2022年に放映されたコンビニのレジ待ちの列を舞台にラッパー、高齢者、店員らが互いを思いやるラップを披露するACジャパンの全国キャンペーンCM「寛容ラップ」(右図参照)を思い出す方もいらっしゃるかもしれません。

寛容さが足りないと、お互いを認めることができず、様々な人権問題につながる場合があります。例えば、自分と異なる価値観や意見を持つ人に対するSNS上での誹謗中傷、特定の民族や国籍の人々を排斥しようとする差別的言動、ヘイトスピーチ、LGBTQ+に対する偏見・差別などが起きています。

11月16日は「国際寛容デー」です。これは1995年にユネスコ総会で採択された「寛容に関する原則の宣言」に基づき、世界中の人々が「寛容」の重要性を意識するきっかけとして制定されました。その宣言は、様々な文化や表現の手段、人間としてのあり方といった多様性を尊重すること、受け入れること、多様な社会を存続させることをめざしています。

様々な人権問題が起こらないようにするためにはまず誰もが寛容な心を持つ必要があります。寛容な心を持つためには、まず身近な人との対話を通じて互いの考えを理解することが大切です。家族や友人、同僚との対話を通じて、異なる意見を尊重しあい、相手へのリスペクトと感謝の気持ちを表現しましょう。日常の中で寛容さを実践することで他者への理解が深まり、より円滑な人間関係を築くことができます。「国際寛容デー」をきっかけに身近な人々との対話を大切にし、お互いの素晴らしい点や善い行いを認め、多様性を尊重する社会の実現を目指しましょう。

「たたく」より、「たたえ合い」ましょう！



気づきを、動きへ。
AC JAPAN

協力：AC ジャパン

おしらせ



●図書購入のおしらせ

人権に関する本を購入しました。貸出もできますので、図書コーナーにぜひお立ち寄りください。

(※貸出について 期間：2週間以内、冊数制限はありません。)

	書籍名：部落問題と向きあう若者たち 2 著者名：内田 龍史 出版社：解放出版社 出版年：2025年 ■部落問題と向きあっている若者たちが、どのように部落問題と出会い、どのような経験をしてきたのか。部落の若者たちのインタビュー集。		書籍名：老いはヤケクソ 著者名：佐藤 愛子 出版社：リベラル社 出版年：2025年 ■100歳を迎えた著者のヤケクソな老いの日常や感慨、残しておきたい思い出のインタビューや家族を語ったエッセイなどを収録。
	書籍名：たまに取り出せる褒め寝 著者名：室木 おすし 出版社：KADOKAWA 出版年：2024年 ■誰しも思い出すたび うれしくなってしまう ”褒め” がある。ふとした時に懐から取り出して、にんまりと心を温める、誰かに褒められた記憶のストック。心がととのう素敵な一冊。		書籍名：じんせいさいしょの 著者名：おおの たろう 出版社：KADOKAWA 出版年：2023年 ■0歳から1歳半までの愛らしいしぐさや思わずニンマリするようなあるあるをぎゅっと凝縮。全部で1100点超の様々なしぐさを収録。「こういう仕草あったなあ」と共感しながらお読みいただけます。
	書籍名：ガッツせんべい 4コマまんが 77 選 著者名：久保 敬 出版社：解放出版社 出版年：2025年 ■本書は、月刊誌『ヒューマンライツ』に17年連載された4コマまんがから77点を選び再構成。折々の出来事をユーモラスに描き、教育者の目で綴られたエッセイは肩ひじ張らずに人権を語る。		書籍名：あきらめる勇気 著者名：松永 信也 出版社：法蔵館 出版年：2024年 ■見えなくても、今日も世界は美しい！難病で視覚を失った著者が、「見えない」世界を伝える。笑って泣いて、ほっこり癒される。視覚障害者の現実と、何気ない豊かな日常を綴るエッセイ。

他、35冊を新規購入しました。詳しくは人権文化センターのホームページをご覧ください。

<https://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shiminbu/jinkensesakusuishinka/1479348544779.html>

